

第 103 回 電子情報通信学会 電磁界理論研究専門委員会
2019 年第 1 回 電気学会 電磁界理論技術委員会
合同委員会議事録(案)

日時：平成 31 年 3 月 21 日（木）12:00 ～ 13:00

場所：早稲田大学 西早稲田キャンパス 61 号館 206 室

出席者：

電子情報通信学会 電磁界理論研究専門委員会

廣瀬 委員長（東大）、平山 副委員長（北見工大）、黒木 幹事（都立産技高専）、杉坂 幹事補佐（北見工大）、
上田 委員（京都工芸繊維大）、大貫 委員（日本大）、柏 委員（北見工大）、後藤 委員（防衛大）、阪本 委
員（兵庫県立大）、塩見 委員（阪大）、園田 委員（仙台高専）、藤田 委員（富士通）

電気学会 電磁界理論技術委員会

後藤 委員長（防衛大）、有馬 委員（東京農工大）、石田 委員（九産大）、尾崎 委員（日本大）、黒木 委員
（都立産技高専）、杉坂 委員（北見工大）、出口 委員（同志社大）、松島 委員（熊本大）、川口 幹事（室蘭
工大）、阪本 幹事（兵庫県立大）

議題：

1. 第 102 回電磁界理論研究専門委員会議事録の確認

電子情報通信学会 電磁界理論研究専門委員会

2. 電子情報通信学会英文論文誌 C 編集委員会関係
 - 3-1. 2018-19 年度（平成 30-31 年度）電磁界理論研究会活動（報告と計画）
 - 3-2. 2019 年電子情報通信学会ソサイエティ大会におけるシンポジウムセッションについて
4. 平成 30 年度電磁界理論研究会学生優秀発表賞受賞者
- 5-1. 18 年度最終決算見込
- 5-2. 19 年度会場費・委員会費の申請報告
6. 電磁界理論シンポジウム準備状況についての報告
7. 電磁界理論シンポジウムの開催期間について
8. 2020 年以降の 1 月合同研究会（光関係合同研究会）について
9. 合同委員会資料の統一化について
10. 電磁界理論究専門委員会 次期執行部・専門委員構成

電気学会 電磁界理論技術委員会

11. 平成 30 年度第 2 回電磁界理論技術委員会議事録（案）について
12. 平成 30 年度電気学会 A 賞および部門表彰の推薦報告について
13. 平成 30 年度電気学会 A 部門活動資金報告書について
14. 平成 31 年度電気学会 A 部門活動資金申請書について
15. EMT 幹事等候補者の配置方法について

- 16. 合同委員会資料の統一化について
- 17. 2019年度電磁界理論技術委員会名簿の確認

資料：

No.103-1 第102回電磁界理論研究専門委員会議事録（案）

電子情報通信学会 電磁界理論研究専門委員会

No.103-2 電子情報通信学会英文論文誌C 編集委員会関係

No.103-3-1 2018-19年度（平成30-31年度）電磁界理論研究会活動（報告と計画）

No.103-3-2 2019年電子情報通信学会ソサイエティ大会におけるシンポジウムセッションについて

No.103-4 平成30年度電磁界理論研究会学生優秀発表賞受賞者

No.103-5-1 18年度最終決算見込

No.103-5-2 19年度会場費・委員会費の申請報告

No.103-6 電磁界理論シンポジウム準備状況についての報告

No.103-7 電磁界理論シンポジウムの開催期間について

No.103-8 2020年以降の1月合同研究会（光関係合同研究会）について

No.103-9 合同委員会資料の統一化について

No.103-10 電磁界理論研究専門委員会 次期執行部・専門委員構成

電気学会 電磁界理論技術委員会

No.2019-ETC1-1 平成30年度電気学会A賞および部門表彰の推薦報告

No.2019-ETC1-2 平成30年度電気学会A部門活動資金報告書

No.2019-ETC1-3 平成31年度電気学会A部門活動資金申請書

No.2019-ETC1-4 EMT 幹事等候補者の配置方法(20180406版)

No.2019-ETC1-5 合同委員会資料の統一化について

No.2019-ETC1-6 2019年度電磁界理論技術委員会名簿について

No.2019-ETC1-7 電気学会 研究会企画連絡シート p. 40

共通議題 議事

1. 第 102 回電磁界理論研究専門委員会議事録の確認

平山副委員長より資料 No. 103-1 に基づき前回議事録の確認があり、承認された。

電子情報通信学会 電磁界理論研究専門委員会 議事

2. 電子情報通信学会英文論文誌 C 編集委員会関係

黒木幹事より、資料 No.103-2 に基づき、電子情報通信学会英文論文誌 C の小特集号について報告がなされた。現時点での投稿数は 1 件で、投稿締め切りの延長については後日メール等で連絡すること、また編集委員会は 5 月 25 日（土）に、都立産技高専で開催されるとの説明がなされた。

投稿締め切りを何日間延長できるかの質問に対し、査読結果が著者に戻り、再投稿までの期間は短縮できないこと、編集委員会の日程が決まっていることから、あまり長くは延長できない（10 日程度）との回答があった。

委嘱状が委員に届いていない可能性については、今年から紙媒体での配布はなくなり、通信学会のマイページから各自ダウンロードする必要があるとの回答があった。メールで案内が来るはずであるため、後で確認しておく旨が述べられた。

3-1. 2018-19 年度（平成 30-31 年度）電磁界理論研究会活動（報告と計画）

3-2. 2019 年電子情報通信学会ソサイエティ大会におけるシンポジウムセッションについて

黒木幹事より、資料 No.103-3-1 に基づき、電磁界理論研究会の活動報告がなされた。11 月のシンポジウムについては、鳥取県から 20 万円の補助が出ることが決定し、懇親会補助とするとの説明がなされた。2019 年 5 月の電磁界理論研究会については 7 件の発表申込があり、7 月の光・電波ワークショップは函館市での開催が決定しているとの説明がなされた。資料 No.103-3-2 の通り、9 月のソサイエティ大会では渡辺幹事によりシンポジウムセッションが企画されており、事前の声掛けにより必要な発表件数は満たされる見込みであるとの報告がなされた。

7 月の光・電波ワークショップの日程については、前後に他の学会が入っており、18～19 日の日程で確定する見込みであるとの回答がなされた。加えて、4 月に電気学会事務局の方へ会場と日程について届け出なければならず、詳細な情報が必要との要望に対し、後日黒木幹事より回答する旨が伝えられた。

4. 平成 30 年度電磁界理論研究会学生優秀発表賞受賞者

杉坂幹事補佐より、平成 30 年度の電磁界理論研究会学生優秀発表賞の受賞者決定について報告がなされ、資料 No.103-4 の通り 2 名の受賞者が承認された。

5-1. 18 年度最終決算見込

5-2. 19 年度会場費・委員会費の申請報告

杉坂幹事補佐より、資料 No.103-5-1 に基づいて平成 30 年度の決算について報告がなされた。資料 No.103-5-1 の出納帳に記載の通り、研専口座の残金は年度内に通信学会の口座へ全額送金し、本出納帳と会場費管理簿を通信学会事務局に提出予定であることが述べられた。続いて、資料 No.103-5-2 に基づき、2019 年度の研究会・研専委員会の会場費の申請について、例年通り上限額で申請する予定である旨報告がなされた。

実際に使用した会場費が申請した額より少なくなっている点については、差額（余剰金）が通信学会へ返還

させるようになっており、問題ないとの回答がなされた。

6. 電磁界理論シンポジウム準備状況についての報告

渡辺幹事の代理として黒木幹事より、資料 No.103-6 に基づいて、2019 年の電磁界理論シンポジウムが佐賀県武雄市、ホテル春慶屋にて、11 月 7 日～9 日の期間で開催される予定であることが報告された。宿泊費は 1 泊 12,000 円で、近年のインバウンド増加により宿泊費を下げることは難しいこと、ただし事前に宿泊総数が 100 泊を超えれば補助金が出て、1 泊 9,000 円程度まで下げられるとの説明がなされた。

7. 電磁界理論シンポジウムの開催期間について

前回の合同委員会からの継続審議として、電磁界理論シンポジウムの開催期間について、平山副委員長より報告がなされた。前回のシンポジウムで参加者に意見を聞いたところ、資料 No.103-7 にまとめられている通り、3 日間開催に対する反対はなかったとの説明がなされた。さらに、2 日間開催にすると、申請できる会場費が 18 万円から 12 万円に下げられ、財政的に厳しくなることもあり、結論として、今後も 3 日間開催で続けていくことが提案され、本審議で承認された。

8. 2020 年以降の 1 月合同研究会（光関係合同研究会）について

後藤委員より、資料 No.103-8 に基づいて、2019 年 1 月に開催された「光関係合同研究会の次年度以降に関する会合」の審議内容について報告がなされた。これまで 1 月合同研究会に参加してきた研究会のうち、OPE、LQE、EST が次回からの不参加となり、残りの研専でシングルセッションとして開催されることになるとの説明がなされた。

EMT が 1 月合同研究会に参加しない場合、EMT 単独で研究会を開催するのかという質問に対し、まず 2010 年の研究会には参加する意思表示をしていること、2021 年以降の判断については、通信学会の 1 種研が年に開催しなければならない研究会の最低回数次第であることが話し合われた。この回数については年 3 回または 4 回との情報があり、まずは通信学会、電気学会双方に開催回数の規定を確認することが決められた。2021 年以降の参加については、次回（5 月）に審議することが決められた。

9. 合同委員会資料の統一化について

後藤委員長（IEEJ-EMT）より、IEICE-EMT、IEEJ-EMT の共通議題として、委員会資料の統一化に関する提案がなされた。両 EMT の現状として、幹事補佐が双方の委員会資料を作成しており、負担が大きくなっていること、議事録は体裁が異なるが内容は同一であり、議題は両委員会に共通するものが多いことを受けて、委員会資料を統一化することが提案された。続いて、杉坂幹事補佐より、統一化した委員会資料の表紙について提案がなされた。

学会へ資料を提出する場合に問題はないのかとの意見に対し、電気学会側は資料の提出は求められておらず、議事録をホームページで公開するのみであり、問題はないとの回答がなされた。ただし議事録のタイトルは委員会資料のタイトルに合わせて、電磁界理論研究専門委員会と電磁界理論技術委員会の双方を入れた方が良いとの意見が出された。次回からはこの意見を反映させて、統一化した資料および議事録を作成することが承認された。

10. 電磁界理論研究専門委員会 次期執行部・専門委員構成

平山副委員長より、No.103-10に基づき、平成31年度の電磁界理論研究専門委員会の構成員について報告がなされた。新委員長は平山副委員長、新副委員長には同志社大の出口博之氏、後任の幹事は首都大の鈴木敬久氏（内諾済み）、大久保委員は退任（後任の具体的な推薦はなし、1年空けて再任も可との連絡あり）、新専門委員に尾崎先生（日大）、黒木幹事は専門委員に着任、新専門委員に森山先生（横田光広氏から推薦、本人内諾済み）、廣瀬委員長、大貫委員、柏委員、横田委員は退任とのことが報告された。今後委員を増やす場合は、東海、中国、四国地方（現在0人）から推薦したいとの意向が述べられた。また、名大の飯盛浩司氏（発表賞を2回受賞済み）にお願いする予定であることが報告された。

11. 平成30年度第2回電磁界理論技術委員会議事録（案）について

電子情報通信学会の議事の通り、承認された。

12. 平成30年度電気学会A賞および部門表彰の推薦報告について

後藤委員長より、資料No.30-ETC3-2に基づき、平成30年度電気学会A賞および部門表彰について報告がなされた。当該優秀論文発表賞については、若手の発表者数の実績に応じて受賞枠が決まるように変更され、本年度のA賞は枠数0（場合によっては来年も0、その次の年が1となる予定）、部門表彰の枠数は1となり、資料の通り候補者の推薦が報告され、承認された。

13. 平成30年度電気学会A部門活動資金報告書について

後藤委員長より、資料No.30-ETC3-3に基づき、活動資金が電磁界理論シンポジウムの特別講演の謝金に充てられた旨報告がなされた。

14. 平成31年度電気学会A部門活動資金申請書について

後藤委員長より、資料No.30-ETC3-4に基づき、活動資金を電磁界理論シンポジウムの特別講演の講師の謝金として申請していたが、電気学会から5万円を超える案件については2割削減するように見直しの依頼があり、減額した53,456円を申請した旨の報告がなされた。減額分は電気学会EMTの年間活動補助金から充当し、謝金は例年通りの金額となるとの説明がなされ、承認された。

15. EMT 幹事等候補者の配置方法について

後藤委員長より、資料No.30-ETC3-5（2018年5月に審議済）に基づき、2019年度の幹事および幹事補佐の確認がなされた。前回の審議からの変更はなく、電気学会の幹事については2018年度の先任：川口氏、後任：西岡氏・阪本氏から2019年は先任：阪本氏、後任：黒木氏となること、幹事補佐については、2018年度：中氏から2019年度：松岡氏（内諾済み）となることが説明された。

16. 合同委員会資料の統一化について

電子情報通信学会の議事の通り、承認された。

17. 2019 年度電磁界理論技術委員会名簿の確認

後藤委員長より、資料 No.30-ETC3-7 に基づき、平成 31 年度の委員について報告がなされた。1 号委員は黒木委員から川口新委員に交代、後任の幹事は黒木新幹事、幹事補佐は中幹事補佐から松岡新幹事補佐に交代となること、川口幹事、西岡幹事、中幹事補佐は退任となる旨報告がなされた。

以 上